

春 SPRING  
2014

公益財団法人  
国立京都国際会館広報誌

# ICC Kyoto



## 二度目の開催会場として際立つ進化に期待

**木下** 当館は1966年に開館し、施設の耐震補強等を含めて今、改築中ですが、建物の補修とともに「人材」のスキルアップにも取り組む必要があると思っています。また京都は旅行者が多数入浴した際、学会を誘致しても宿泊施設が十分ご提供できない問題もあります。このあたりをどう解決していくかも智恵を要するところですが、アンバサダーのお立場としても今後、期待される点、ご意見等いかがでしょうか。

**水澤** MICEの観点では私は学会関係の誘致が関心事ですが、学会の参加者は直接的な経済面の波及効果は大きくはなくても社会的発信力を持っています。日本の産業、観光そして本来の学術を体験し、それを帰国先で、また他の学会の招致に対しても影響力を発揮します。例えば日本の素晴らしさや“平和”への理解を深めていただくことは、「日本の安全保障」にも役立つのではないのでしょうか。

宿泊施設については、一昨年のサイトビジットでも関係者より指摘を受けました。京都には4つ星、5つ星ホテルが多くない評価ですが、リーズナブルなホテルから高級志向のホテルまで、幅広い対応は国際都市として求められ

る要件の一つと考えますので、現在建設中のホテルも含めて2017年までに期待はしております。

**木下** 現在ラグジュアリークラスのホテルが1つ完成し、さらにハイクラス対応のホテルも予定されています。手頃な宿泊施設も増やしつつ、より多くの方々のリクエストにも応じられるよう取り組んでいきます。

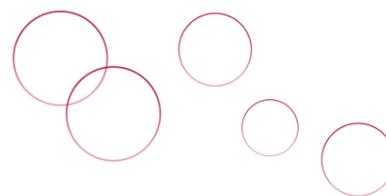
また京都ならではの歌舞伎、能や狂言などの古典芸能、華道、茶道あるいは坐禅体験など文化的な要素も華美にならない程度に、学会を応援する基盤も作りたいと考えております。

**水澤** 日本での世界神経学会の第1回日も京都国際会館での開催でした。当時、私もモダンなデザインに驚いた記憶があります。同じ場で同じ学会をすることはダイレクトに比較もされます。建物は同じでも、中身は「伝統」と「ハイテク」が融合した、国際的な対応であり、参加者に学術内容と共にそんな驚きの経験をしていただければ素晴らしいのではないのでしょうか。

**木下** 重要な指摘をいただきました。世界神経学会において前回との違いが際立つ会議運営が行われるよう気合を入れ、2017年に向けて一つずつ課題に取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

### インタビュー●木下博夫

1943年生まれ。国土事務次官、阪神高速道路(株)社長などを経て2012年より国立京都国際会館館長・常任理事を務める。



**木下** JNTO(日本政府観光局)の担当者から、当日は水澤先生も日本の良さを強かにアピールし、京都のハンディキャップをプラスに転じる話など、迫力あるスピーチをされたと聞いております。この成果を結実させるためにも今後の準備期間が大変重要と考えています。先生は昨年12月、MICE戦略において8名のアンバサダーの一人にも就任されましたが、充実した学会に向けて当館が解決すべき課題についてはいかがでしょうか。

**水澤** 昨年のウィーンの実績から7,000名を超える参加者が想定されますが、まず最先端技術が実感できる学会の実現です。IT化により先進技術を駆使した画像や情報、トランスファーなどがスムーズに行われること、そして開催理由の一つにもなった日本の正確さや信頼性を活かして展開されることを期待しています。

また会場側は単なる場所の提供に留まるのではなく、スタッフの語学レベルも高めさせていただき、より高いおもてなしの精神で対応いただくことも重要ですね。交通のインフラ整備においては、日本中で利用できるSuicaなどの電子マネーシステムを活用できると大変便利だと思います。



世界神経学会の誘致活動(2013.9.ウィーンにて)

「第23回世界神経学会」が2017年9月に京都で開催が決定され、主会場になる京都国際会館としては同会議を36年ぶりに2回目を担当することになり大きな期待が寄せられます。そこで誘致に尽力された国立精神・神経医療研究センター病院長であり、昨年末MICEアンバサダーにも就任された水澤英洋氏に、今回の招致におけるご苦労や当館への要望などをお聞きしました。

## 誘致側の招致機運をまず上げる

**木下博夫館長(以下、木下)** 昨年9月、ウィーンにて2017年開催の「第23回世界神経学会」が香港、ソウルの候補地を抑えて京都に決定され、当館での開催となりました。1年以上のロビー活動、投票前日のPR、プレゼンテーションなど数多くの誘致成功要因が挙げられると思いますが、改めて決定の要因についてお聞かせいただけますか。

**水澤英洋氏(以下、水澤)** 私自身が誘致で心掛けたのは、昨年5月頃に日本神経学会の学術大会があり、世界神経学会を日本に誘致する我々主催者側がまず関係者内での盛り上がりが大切だと考え、学術大会でポスターを数多く会場に貼り、国際学会の招致運動をしていること、この国際会議が学会や日本にとっても重要であることを周知する努力をしました。東京オリンピック同様、まず誘致側が盛り上がり、誘致への機運を上げることに重点をおいたのです。

世界神経学会の開催地決定の方法は、総会場で114カ国の構成員の代表が投票して決定されます。各国の代表一人ひとりに対する招致運動が重要であり、メール、手紙はもちろん、他の国際学会等にも出向き、直接お会いできるチャンスを最大限活かして資料等を手渡ししながら日本開催の意義や京都の素晴らしさをPRしました。さらにキーパーソンとなる影響力の大きい方々には、実際に日本の学会へ招待し、我々のアクティビティの高さなどを直接見ていただいたことも高い評価に繋がったと思います。

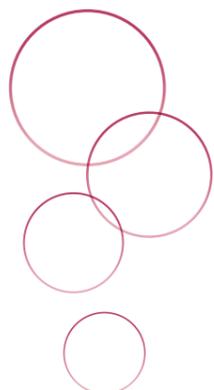
## IT化による最先端技術を体得できる学会に

**木下** 去年8月に在オーストリア日本大使就任直後の竹歳誠氏を京都に招き、大使就任初の仕事として世界神経学会の日本誘致を成功させようと激励、要請しました。絶妙のタイミングだったと思います。

**水澤** オーストリアでの最終誘致活動は重要なファクターでした。投票前夜に開催した「ジャパンナイト」では竹歳大使からも素晴らしいスピーチをいただき、日本政府も誘致をサポートしていることを各国に伝えるには大変効果があったと思います。

# 国立京都国際会館への期待と役割

2017年「世界神経学会」京都開催決定



## 巻頭 Interview

インタビュー



Hidehiro Mizusawa

## 水澤英洋氏

国立精神・神経医療研究センター病院  
MICEアンバサダー

1976年、東大医学部卒。同大学神経内科に入局、助手を経て1984年筑波大学神経内科講師。1986・1988年Fulbright奨学生として米国Albert Einstein医科大学に留学、帰国後、助教授を経て1996年東京医科歯科大学神経内科教授、1999年同大学院脳神経機能病態学のち脳神経病態学、教授、2008年、同大学研究担当副理事、脳統合機能研究センター長、医学部附属病院副院長、2014年4月から国立精神・神経医療研究センター病院長。2010年5月より日本神経学会の代表理事。

# 行ってみたら

## こんなトコロ

Kyoto International Conference Center

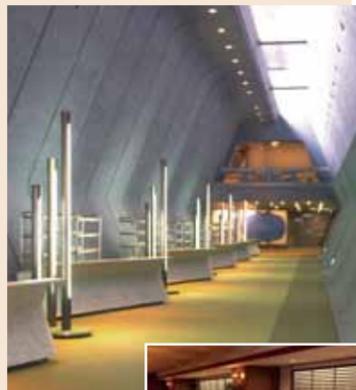
### ～発見! 国立京都国際会館の魅力～

京都洛北の地、比叡山のふもとにたたずむ京都国際会館は、四季折々の自然美に包まれた高水準の会議専用コンプレックスです。156,000㎡(甲子園球場の約4倍)という広大な敷地には本館、アネックスホール、イベントホール、日本庭園のほか500台収容できる駐車スペースを持ち、世界に誇る日本初の国際会議場として歴史に残る貴重な瞬間を刻んできました。今回は会議やイベントの利用では気づかない館内の魅力をご紹介します。

### Start

#### 正面玄関・受付

正面玄関から廊下へ進むと吹き抜けの空間が広がり、いっせいに心地よい開放感に包まれ、声の響き方も変わります。天井からの自然光と、国内外で活躍する照明デザイナー・石井幹子さんによる竹をイメージした京都らしい照明スタンドが、会議に参加される方々の緊張感をさりげなくやわらげています。



廊下の右奥には懐かしい昭和の洋食店の雰囲気を持つレストラン・グリルがあり、レトロブームで雑誌等でもたまたま注目中!



幸ヶ池のアイドル白鳥の“幸子さん”は10年前より彦根城から贈られました。



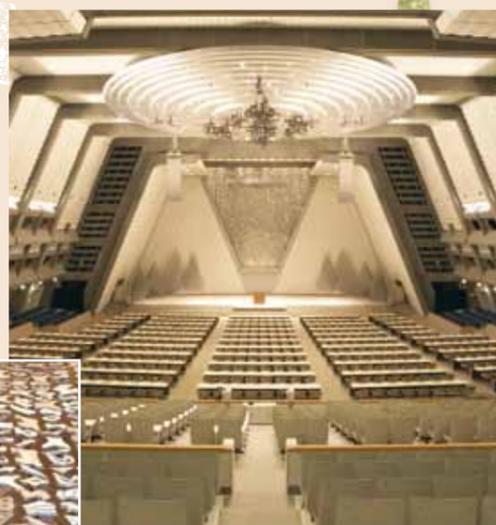
#### メインロビー

館内のカーペットは基本的に緑で統一され、波模様は龍安寺・石庭の白砂がモチーフ。剣持勇氏による六角形の椅子は組み方次第で隣席者と様々な距離感が図れ、過去にはこの椅子でのロビー活動で大きな成果を上げた会議もありました。

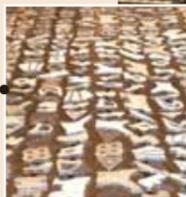


#### Main Hall

国内唯一の国連方式国際会議場。4階まで吹き抜けの高い天井は当館の特徴の一つです。1階には机付きの代表席と後席に随行員席が並び、一度に約2000人が収容できる規模を持ちます。天井の銀天板は“大空の下で人は集い、話し合う”をコンセプトに雲と星と空のイメージで設置。1997年の京都議定書が採択されたCOP3京都会議の議場として、全世界より注目された場となりました。



舞台背面のオブジェは20種類のアルミ鋳物。すべて異なる角度の設置で照明演出に役。メインホールの象徴的デザイン。



#### VIP Room

各国の要人が集うVIP Roomで宝ヶ池や庭園の景色に安らげる部屋です。天井は真寶室にふさわしく桐を全面に用いた贅沢な造りになっています。あくまでも“主賓はお客様”というデザインコンセプトにより驚くほどシンプル。



#### Banquet Hall sakura

比叡山をのぞむ宴会場で立食なら約500名の収容が可能。会議後のパーティー、また披露宴や同窓会などにも利用されています。春にはガラス向こうに一面の桜が咲き、夜のライトアップもおすすめ。桜色に染まりながらグラスを傾け、食事を楽しめる贅沢な空間。



#### Room A

政府間、国際機関会議に利用される会議場で、馬蹄形やシアター形式など多様な座席配置が可能。収容座席は約550席で上階の傍聴席も222席あります。2013年の内装改修工事では常設スクリーンがサイズアップされより快適な会議が可能になりました。



#### Annex Hall

可動式の間仕切りを備えた会場で当館では一番新しいホールです。1,500㎡の広さは台形の仕切り壁の移動により会場を2分割できます。ロビーのモダンオブジェを活かした個性的な人前結婚式などユニークな利用例も。



#### Event Hall

大駐車場に隣接するイベントホールで絨毯敷きの館内はレセプションや展示、イベントなど多様な利用が可能。華やかなファッションショーなどにも最適です。最も高いセンターの天井は19.2mあり、祇園祭の鉦がすっぽり入る高さ! 地下鉄と直結する専用エントランスも便利です。



#### 庭園

四季折々の自然美、回廊を巡らせた幸ヶ池、檜皮葺きの茶室など自然と文化、人が集い交わる庭園です。園内に点在する松は、周囲の山々から孢子が飛来して芽吹いたというイメージに。夏の「乾杯の夕べ」で上がる花火は京都市内で唯一ここだけです。宴会場Swanでは庭園がのぞめます。



#### 茶室

茶室「宝松庵」は国内外からの要人や関係者に日本の“もてなしの心”をダイレクトに伝えます。春秋の茶会では一般参加者も一期一会、茶の湯の心を満喫。

#### 会館を生涯、慈しんだ建築家

国立京都国際会館を設計した建築家・大谷幸夫氏(1924-2013)は、丹下健三の門下として活躍し、日本万国博覧会友児童館(1970)、沖縄コンベンションセンター(1987)など数多くの設計を手掛けました。年に数度の視察は晩年まで続けたほど、設置物などで細やかな配慮に心を尽くした根底には、「自分の子どものような存在」として慈しみをもって生涯見つめていたからでしょう。機能性を重視しつつ、人は自然の中で集い、話し合うという自然をモチーフにした大谷氏の想いは今も館内至る所で感じられます。

要予約 無料

#### 一般見学できます!

見学日程を確認し、事前にご予約ください。見学は約60分です。詳細は京都国際会館ホームページをご覧ください。

京都国際会館 主催イベント

開催予定

ドイツ人映画監督の見た『国立京都国際会館』

ジャパン・プレミア上映会

「Beyond Metabolism (メタボリズムをこえて)」

2014年4月27日(日) 13:30~17:30(予定) 入場無料

国内初の国際会議場として1966年に建てられた国立京都国際会館のドキュメンタリー映画を上映致します。この映画は、ドイツの原発解体ドキュメンタリー映画『アンダー・コントロール』で国際的に高い評価を得たドイツ人映画監督フォルカー・ザッテル氏とシュテファニー・ガウス氏が、2013年冬、ゲーテ・インスティテュート・ヴィラ鴨川招聘アーティストとして3ヶ月間京都に滞在し撮影した作品です。普段は見ることのできない国際会議場の日常が静謐で美しい映像で綴られています。

建築家の故丹下健三氏の右腕だった故大谷幸夫氏(1924~2013)が設計した国立京都国際会館で、1997年に開かれた地球温暖化防止京都会議(COP3)と京都議定書の採択に至るまでの緊迫した場内の舞台裏を、貴重な映像資料や同時通訳の回想なども交えて、浮き彫りにした映像です。

四部構成となっており、京都工芸繊維大の松隈洋教授の司会で、監督2人と設計とデザインに関わった2人の座談会や、建築とインテリアの2コースに分かれて館内を案内するツアーもご用意しております。



第57回 宝松庵茶会

2014年4月29日(祝・火)

宝松庵茶会は、昭和59年の春より始まり、以来年2回の恒例行事となり今春は第57回に至ります。うらかな春の日差しと共にお茶を楽しむひとときを、皆様にお過ごしいただければと思います。



乾杯の夕べ 2014

2014年7月18日(金) 19日(土)

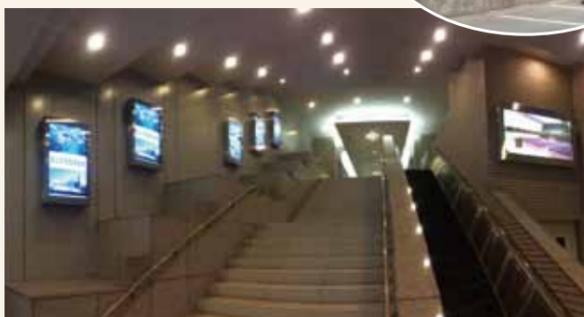
国立京都国際会館では、1997年よりガーデンパーティーを開催しています。今年はトルコをテーマに、京都市内で唯一の打ち上げ花火や賞品が当たる抽選会などを予定。楽しい「乾杯の夕べ」にぜひ皆様のお越しをお待ちしております。



ICC Kyoto information

お気づきですか？ 太陽光パネル&デジタルサイネージ

京都市営地下鉄「国際会館」駅より地下連絡通路を歩いて京都国際会館へ来られた際、何かお気づきになったことはありませんか。中央階段と出口付近階段の左右に、エコに配慮した「デジタルサイネージ(電子看板)」が新たに設置されています。会議参加者の利便性向上や会議PRの観点より、LEDバックライトを採用した省電力製品で、多様な情報提供はもちろん施設の経済性向上、またCO2削減にも貢献。京都議定書が採択された会議場として会議における環境配慮の観点からも、電力源は大駐車場に取り付けられた太陽光パネルを活用し、地球環境負荷の軽減モデルとしても今後注目される取り組みです。



2014年  
4月~7月

開催予定のイベント・会合一覧

(2014年4月1日現在)

日程	催事名	人数
4月1日	京都精華大学2014年度入学式	2,100人
4月3日~5日	第114回日本外科学会定期学術集会	12,000人
4月10日~11日	京都国際ラカン精神分析コロキウム 2014年春「夢と構造: 心的装置が環太平洋の輪を結ぶ」	270人
4月13日~16日	第18回世界気管支支会議・第18回世界気管食道道科学会議 第37回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 第24回日本気管食道科学会認定気管食道科専門医大会	2,000人
4月17日~19日	第43回日本脊椎脊髄病学会学術集会	2,000人
4月27日	ドイツ人映画監督の見た『国立京都国際会館』 ジャパン・プレミア上映会「Beyond Metabolism (メタボリズムをこえて)」	200人
4月29日	第57回(平成26年春)宝松庵茶会	600人
5月9日~11日	第26回日本アレルギー学会春季臨床大会	4,000人
5月11日~14日	39th World Congress of International Society of Medical Hydrology and Climatology (ISMH) 第79回日本温泉気候物理医学会総会学術集会	500人
5月19日~23日	Advanced Automotive Battery Conference Asia 2014 (AABC Asia 2014)	500人
5月22日~23日	BNI ナショナルカンファレンス2014	800人
5月24日~28日	第35回国際ヒューマンケアリング学会	1,000人
5月30日~6月1日	第113回日本皮膚科学会総会	4,300人
6月5日~8日	第50回日本肝癌研究会 第4回国際肝癌シンポジウムKYOTO	2,500人
6月11日~13日	第24回関西高校模擬国連大会	200人
6月21日	平成26年度公益社団法人京都府看護協会定時総会	800人
7月12日~13日	第2回日本糖尿病協会療養指導学術集会	1,000人
7月18日~19日	乾杯の夕べ2014	3,000人

※参加者200名以上の会議(参加者数は概数)

ピックアップイベント

A 39th World Congress of International Society of Medical Hydrology and Climatology (ISMH)  
第79回日本温泉気候物理医学会総会学術集会

2014年5月11日~14日

本学会は、温泉・気候・物理医学の学術研究ならびにその応用を推進することを目的に、1935年に設立された歴史ある学会です。また、同一日、同一会場では、World Congress of International Society of Medical Hydrology and Climatology (ISMH) が39回目にして初めてヨーロッパ以外で開催されます。温泉大国である日本にヨーロッパを中心に多くの国の温泉研究者が来られます。

B 第24回  
関西高校模擬国連大会

2014年6月11日~13日

関西高校模擬国連大会は、1991年より京都外大西高等学校国際文化コースが中心となって開催し、高校生らの英語学習の発表の場となっています。国立京都国際会館は、若者が国際問題や国家の対外政策を学習するこの模擬国連大会に協賛しています。

# 歴史箱

ICC Kyoto アルバム

1966  
年



## 第5回日米貿易経済合同委員会



国立京都国際会館のこけら落としとして開催されたのが1966年7月5～7日の「第5回日米貿易経済合同委員会」です。1961年の第1回委員会開催以来、政治的に大きな意味を持つ会議で、この第5回もベトナム戦争など激動するアジア情勢のもと、日本に寄せる米国の期待が高まった中での開催でした。京都国際会館でも初の国際会議であり、特に同時通

訳については半月前からテストにテストを重ね、当日もいたって順調。会議ごとの膨大な討議結果を印刷したり、記者団に配布などの事務処理も支障なく、成功裏の内に終了しました。建築や設備については芸術的、渋くて豪華、世界で最も立派な建設物の一つなどと賞賛が寄せられ、海外の通信社によって広くPRもされた会議です。

## 京都国際会館は、2016年の50周年に向けて 装い新たにリフレッシュしていきます！

正面玄関 車寄せひさし改修工事が終了しました。柱・梁の耐震補強、耐震補強壁の新設、屋根の防水改修、外壁表面の洗浄・塗装、床面タイル、縁石の取り替え、照明灯具の取り替え(LED照明化)を行い、リフレッシュされました。今後、より安全・安心にご利用いただけます。

※工事中も通常通り営業しております。会場のご利用はお気軽にお問い合わせください。



今号よりICC Kyotoの表紙が変わります。ペーパークラフトによる国立京都国際会館の四季を様々な角度からご紹介します。春は本館正面と周囲を囲むように咲き誇る桜をイメージしたものです。

表紙制作：金甫盈（キム・ボヨン）  
京都精華大学  
マンガ学部アニメーション学科 講師

ICC Kyoto

Kyoto International Conference Center

国立京都国際会館

検索

© Kyoto International Conference Center. All right reserved.

編集発行 公益財団法人 国立京都国際会館  
住所 〒606-0001 京都左京区宝ヶ池  
TEL 075-705-1218  
FAX 075-705-1100  
E-mail com@icckyo.or.jp  
URL http://www.icckyo.or.jp/